年輪

公益社団法人 小平市シルバー人材センター
会報 第176号
令和5年1月7日

鈴木囃子　おかめひょっとこ　仲町　加藤　和行

No.176

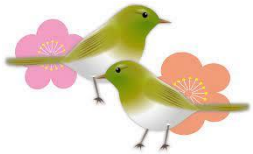
目　次

会長　新年を迎えて・
2022一斉清掃ボランティア活動実施の報告　2
年男・年女　・・・・・・・・・・・・・・・・・3
会員のひろば　・・・・・・・・・・・・・・・・4
「仕事紹介（私の職場）」・安全就業だより　・・5
センター「パネル展」を開催しました・
第25回学習教室作品展を開催・
配分金収入の確定申告について　・・・・・・・6
理事会の動き・会費納入のお願い・投稿要項　・7
新しい仲間・事業実績・編集後記　・・・・・・8

発　行　（公社）小平市シルバー人材センター
編　集　広報・ボランティア委員会
　　年輪編集グループ
住　所　東京都小平市小川東町4-2-1
　　小平元気村おがわ東内
ＴＥＬ　042-344-2120/2108
ＦＡＸ　042-345-9400
Email　kodaira@sjc.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://www.sjc.ne.jp/kodaira/

新年を迎えて

会長　浦部　彰夫



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えになられたことと拝察いたします。

新型コロナ蔓延も収まる気配を見せず 4 年目を迎え、第 8 波の到来も心配なところです。昨年も、コロナ騒ぎの中にも拘わらず皆様には積極的な就業にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターの令和 4 年 4～10 月の業績は、前年比、契約金額は 5.6%の増で好調に推移しております。10 月末会員数は 1,215 名と 71 名増加しております。

コロナと共生の世の中になって来ました。シルバー人材センターを取巻く環境変化に対し、どう対応すれば良いのか具体策を実施する年になります。

センターの中期の課題として、高齢化する会員に対する就業機会の提供の仕方、高齢労働者の供給源としての役割を担い、シルバー人材センターが定年後の人々の居場所として魅力のある組織として存在する為には等々の課題に積極的に取り組んで行きます。

当面は増加する会員に就業機会を提供することはセンターが最重点で取り組む必要があります。又コロナ禍に於いて中断している会員相互の交流の場を復活させる事も大きな課題です。

会員の高齢化に伴い認知症の予防も大切なことで、予防には思い出せない事を思い出す努力をする事が必要だそうです。

本年もコロナに負けずに、健康と笑顔で過ごせる良い年にするべく皆様のご協力をお願い申し上げて、年頭のご挨拶と致します。

2022 一斉清掃ボランティア活動実施の報告　広報・ボランティア委員会

11 月 9 日(水)14 時から 15 時までの間、中央公民館・ほのぼの館・さわやか館の 3 拠点から周辺道路の歩道帯及び生活道路の清掃活動を行いました。例年たくさんの方にご参加いただいている一斉清掃ボランティアですが、新型コロナウィルスの感染拡大防止のため通常時よりも規模を縮小し、理事・監事と職員、広報・ボランティア委員、ほのぼの館・さわやか館会員の 35 名で行われました。

昨年よりも拠点を増やし市内の広い範囲での活動を行うことが出来ました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

令和５年（卯）　年男・年女

川上　政子

2000 年 3 月 31 日定年退職。翌 4 月 1 日より、臨時職員等で働き続けながら 2004 年シルバー人材センターに入会。19 年目になるようです。入会以来、各役職、家事援助グループのコーディネーター、屋内清掃グループ等々いろいろな仕事を経験。現在もなお続けています。75 歳位までは続けられるかな～と思っていた頃を懐かしむ昨今ですが何と 7 回目の年女。今も割としっかり働けているのが不思議です。事務局の一角をお借りして始めた喫茶「ほほえみ」、皆様その節はお世話になりました。会員同士の横のつながりが出来、情報交換の場として大活躍。月末、月初の 5・6 日間の開店でしたが、年々リピーターも増えて、笑い声が絶えず、お話も弾み本当に楽しい時間でした。8 年半続けましたがコロナが始まる 2 ヶ月前に閉店。事務局はまた静かに。でもやはりあの頃の活気ある雰囲気が懐かしいです。趣味は広く浅くがモットーでタップダンス、レクダンス、フランス刺繍、陶芸、編み物、ミシンかけ、最近始めたウクレレ等々、好奇心は今も健在。ただどれも物にならないのが玉に瑕です。8 回目の年女を目指し貯金より貯筋。フレイル、ぼけ防止に努め、これから先のさらなる老いを元気に美しく迎えたいと思っています。今まで出会った全ての方々に感謝、感謝です。これからもどうぞよろしく！！

池谷　卓見

令和 5 年新しい年が始まります。

昭和 26 年のうさぎ年生まれなので、12 年のサイクルを 6 回経験したことになります。

それぞれのサイクルごとに思い返してみると、その時の情景が色々思いおこされてきます。

7 回目に入った今年からの 12 年間はどのような新しい体験が出来るのかが楽しみになってきます。

サラリーマンを約 20 年、その後自営でお店(趣味に近いお香・アロマの店）を開店させ約 20 年間続けてきました。退店してからシルバー人材センターに登録して約 1 年半が経ちます。

現在は公報配布と高齢者施設管理をさせていただいています。

新しい体験とたくさんの方との出会いが出来て、とても充実しています。

これからも色々な体験とたくさんの方との出会いを重ねていくことが出来ればと思っています。

池田　俊雄

あけましておめでとうございます。

1939 年(昭和 14 年）3 月東京目黒の鷹番に生まれ、1965 年 10 月に小平に転居し、半世紀が過ぎました。今年は癸卯年で「うさぎ」です。「うさぎ」のイメージとしては「安全」や「跳躍」「向上」という意味が込められているのが特徴です。現在「卯年」生まれは 1082 万人いるそうで、ちなみにわが家は、私の息子・孫と三代にわたり「うさぎ」年生まれです。古代中国にはじまる暦法上の用法は、年・日・方位を表します。海外の国にも「十二支」文化が根付いて、中国はむろんのこと、台湾、韓国、チベット、タイ、ベトナム、モンゴルなどにもあります。

昭和（戦後）、平成、令和と続く「平和」な時代がいつまで続くのか。現今のロシア・ウクライナの争いが 1 日も早く終息されることを願っています。

2008 年北京オリンピックの時に、中国の大学へ語学留学し、帰国後に日将連小平支部入会と同時にシルバー人材センターに入会し将棋教室を開講しました。「ほのぼの館」の学習教室（将棋）は 70 代から 10 代までの年齢差を忘れるほどの構成の教室です。伝統文化のひとつである将棋を、小平支部の目的である「楽しみの輪を広げよう」という主旨で開講しました。今更ながら将棋のもつ深さに感心させられる昨今です。さまざまな「将棋」の歴史の将棋指導員として過去を学習し、未来への鏡として迎えたいと思います。平和なくして長寿なし。これは厳然たる事実です。人生 100 年の時代に向かっています。

奉仕、健康、真面目、努力をモットーとしていきたいと思います。

趣味は囲碁四段、都山流尺八師範ですが、将棋と共にこれらの趣味を大切にしつつ、これから残された時間を健康で心豊かに生きていきたいと、新しい年を迎えて願うばかりです。

坂井　勝

令和 5 年 1 月、年男だよと言われて改めて年齢を意識した今日この頃です。

現役を引退後シルバー人材センターに登録して頂き現在、有料自転車管理業務の仕事を早 3 年間従事させて頂いております。

この歳でお仕事が出来ることに感謝いたしております。

スマホに仕事の予定を入力し、空いている日には一番の趣味、ゴルフ練習に通っています。70 歳を過ぎてからはコーチに付いて高齢者向けのレッスンを受け、月に 2～3 度のラウンドを楽しんでおります。

メンバーコースでの競技会ゴルフで上位入賞した事で、増々練習に熱が入って向上心に燃えております。

二番目の趣味は料理づくりです。

妻より教えを乞うてはじめましたが、現在では料理番組を録画したり、スマホに料理アプリを入れて研究したりでメニューも増えてきました。

季節の旬の野菜を使った料理が一番ですね。

変なもんで子供の頃にお祖母ちゃんにつくって貰った料理をよくつくりますね。

ゴルフをするのも料理をつくるのも、シルバーセンターでの仕事をさせて貰う事でエンジョイ出来ていると考えます。

年男の今年も元気に頑張り、良い年にしたいですね。

会員のひろば

～　あじさい公園　～

仲町　飛田　護道

あじさい公園（西武新宿線小平駅南口東方、グリーンロード沿い）内「あじさい池」にはいろいろな生き物がいて、大勢の幼稚園児や来園者の目を楽しませてくれていますが、特にカルガモのファミリーが人気者です。一家は親子 5 羽～10 羽と大所帯で、繁みの中で生まれ、育ったひなたちが幾日かを過ごしたのち、公園西側の遊水路に移動、流れに乗って北方の水場に母鳥と共にお引越ししていきました。来年大きくなったひなたちがまた戻ってきてくれますよう期待しています。

～　備えあれば憂いなし　～

鈴木町　濵田　たか子

人は、50 代を迎えると、現役を退いた時の終活と老いと向き合うのではないか。特にお一人様は早めに気付く。備えあれば憂いなしと言うけれど、人生は想い通りには行かない。

ある人は自分の稼ぎと親からの遺産、店子の賃料とで一生困らないけれど、自分の戸籍を二度持ち次男であるがため、実家の墓には入れない。そこで亡骸は白菊会に登録して安心したのだが数年後 50 代で孤独死。3 日後に発見され遺体は腐敗し検体不可能。ある人は若年から家賃を支払い老後を考え、常日頃から質素にやりくり。59 歳まで会社勤め。年金支給半年で老後を楽しむことなく精神疾患で自ら逝った。ある人は寡婦持ち家を売却しアパート暮らし。朝のうちに三食分の支度、後、小物作り、スポーツ観戦。知人に文を認めたり穏やかに想いのままの日常。ある日脳の病で倒れ車椅子生活。結局子供と同居。

備えあれば患いなしの環境が整っていても、仮定、結果で想定外。全ての生ある万物は、形は異なるが自然淘汰の習い。生きてゆく故の運命、不条理、儚さを確(しか)と胸に刻み込んだ。

敬虔なクリスチャン今は亡き作家の三浦綾子は、死ぬことは最後の仕事と言っていたが、そうかなー、PPK（ピンピンコロリ）の発祥地である信州人と同様私も PPK が願望であるが神は、どの様な終章を与えてくださるのか。

「仕事紹介(私の職場)」

農林水産技術センター

鈴木町　小林　恵理子

農林水産技術センターでの仕事は基本的には種をまいて収穫するお手伝いをしたり、樹木の剪定や周りの草取りをします。

樹木を剪定することにより素人なのにあっという間にすてきな庭に変身します。

また収穫の喜び、昔とは違う種まきの方法に驚きを感じます。

職員の若い男女の方々が親切に私たちに接してくれる姿に、新鮮なエネルギーをもらっています。私にとって若さを取り戻すひとときです。

安全就業だより

組織活性・安全委員会
安全就業推進員

自転車用ヘルメットをかぶりましょう

令和５年度の安全標語でもセンターテーマで「ヘルメット着用」に重点をおきました。
自転車に乗車時や作業時に転倒・落下・障害物等で頭をぶつけてしまった時、重篤な事故につながる場合があります。ヘルメットで頭を保護していれば重篤な状況を避けられるのではないか？と考えていただくことを目的にテーマを決めました。センターテーマは前年の 33 名/78 作品から今年度は 86 名/208 作品と多くの会員の方に応募いただきました。ヘルメット着用のきっかけになる作品があることでしょう。また、自転車損害賠償責任保険等に入られていない方は加入しましょう。

R4・11 月末までの事故件数（カッコ内は R3 の件数）

合　計	傷害事故	就業中等	途上・帰路	内自転車	賠償事故	自動車事故	ｼﾙﾊﾞｰｶﾞｲﾄﾞ	ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ その他
16 (13)	10 (8)	6 (6)	4 (2)	4 (2)	4 (3)	2 (2)	0 (0)	0 (0)

前年度より事故件数が増えています。ストレッチ等体をほぐし、安全就業を心がけましょう！

センター「パネル展」を開催しました

令和 4 年 10 月 14 日(金)から 20 日(木)まで小平市役所庁舎 1 階正面口横において、センター「パネル展」を開催しました。

広報・ボランティア委員会のメンバーが、センターの様々な活動写真を掲示し、パンフレットやポケットティッシュの配布をしてセンター事業の PR をしました。例年では 2 名体制でパンフレットやポケットティッシュの配布を行っていましたが、昨年同様に新型コロナウィルス感染拡大防止の為、配置人員 1 名のみで手渡しはせずご自由に取って頂く形で配布いたしました。

今回はティッシュの配布総数が 397 個と昨年配布数の 264 個より多くの方にセンター事業の宣伝をすることが出来ました。

第 25 回学習教室作品展を開催

今年は、10 月 4 日（火）から 9 日（日）までの 6 日間、中央公民館ふれあいギャラリーA・B に於いて、書道・絵画・染色・絵手紙教室の作品展が開催されました。来場者は約 270 人ありました。

当センターの学習教室は 21 教室あり、25 名の講師（会員）が就業しております。開催場所は福祉会館「学習室」・ほのぼの館「高齢者館」・元気村の 3 か所で開講しています。

皆さんも受講して趣味を広げてみませんか？

詳細はセンター事務局にお問い合わせください。

配分金収入の確定申告について

所得税の確定申告の時期が近づいてきました。シルバー人材センターは、仕事を請負または委任の形式で受託し、会員に就業を依頼している関係から雇用契約は成立しません。

従って就業による収入は賃金にならないので会員の所得税は自己申告（本人が行う）となっています。配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分され、家内労働特例を適用し、令和２年１月より 55 万円の必要経費を控除することができます。

公的年金を受給している方は、配分金収入とは別に公的年金控除が受けられます。

詳しくは税務署にご相談ください。確定申告をする場合は「配分金支払証明書」の添付が必要となります。

毎年 1 月下旬に、会員の自宅に郵送します。

なお、昨年よりご紹介しているとおり配分金には消費税が含まれています。
税法上の取扱いについては、171 号を読み返してみて下さい。

理事会の動き

決議・報告事項

第６回理事会（9 月 22 日）

1. 令和４年９月期入会会員の承認を求めることについて
   （11 名：男性８名　平均 69.2 歳　女性３名　平均 67.3 歳）
2. 規程等の一部改正等(案)について
3. 令和４年度ボランティア活動実施要領について

第７回理事会（10 月 28 日）

1. 令和４年 10 月期入会会員の承認を求めることについて
   （14 名：男性９名　平均 69.4 歳　女性５名　平均 67 歳）

第８回理事会（11 月 24 日）

1. 令和４年 11 月期入会会員の承認を求めることについて
   （11 名：男性８名　平均 73 歳　女性３名　平均 70.6 歳）
2. 「職員給与規程」の一部改正（案）について
3. 「職員の等級及び初任給に関する基準」の一部改正（案）について
4. 「職員の勤勉手当に関する基準」の一部改正（案）について
5. 「役員等の費用弁償規程」の一部改正（案）について

令和４年度会費納入のお願い

今年度の会費 2,000 円が未納入の方は、事務局まで直接納入、又は郵便局の振替口座に振込んでください。
口座番号　00140＝1＝755843　口座名義（公社）小平市シルバー人材センター
※就業中の方は、配分金から引き落とします。

※ 会費はセンター運営に必要な経費の一部に充てますので、就業の有無にかかわらず毎年５月末日までに納める義務があります。退会を希望される方は退会届を提出し、会費が未納の場合は納めてください。また、年度末の３月末までに退会届を提出しない場合は次年度の会費が発生します。

皆さんの投稿お待ちしています

４月１日号の原稿締切は２月１日です。

『年輪』会員のひろば　係

会員のひろばは、会員同士の交流の場です。皆さんの日々の感想、ひとこと、何でも結構です。形式にはこだわりません。お届けください。

- 届　け　方　郵送、事務局持込み、Eメール
- 『年輪』発行月　４月、７月、10 月、１月
- 原稿締切日　発行月の２ヵ月前

配分金支払日

1/17（火）	2/17（金）
3/17（金）	4/17（月）

新しい仲間（9・10・11 月　入会者）

Welcome

第１地域	
氏　名	住　所
野﨑　正毅	小川町
松田　由美子	小川町

第２地域	
速水　一博	小川西町
山口　正直	小川西町
根本　英一	小川東町

第３地域	
石田　富也	学園西町
斉藤　勝重	学園西町
佐藤　圭二	学園西町
西野　正之	学園西町
前田　雄二	学園西町
髙木　実穂子	学園東町
松岡　英利	学園東町
皆本　友則	学園東町
廣隆　直子	上水本町
佐藤　正美	津田町

第４地域	
大河内　順子	大沼町
小林　照之	大沼町
須貝　和子	大沼町
松下　実	大沼町
伊藤　令子	美園町
原田　勉	美園町

第５地域	
岩生　陽一	回田町
大矢　直義	喜平町
神川　知昭	喜平町
笹山　健次	喜平町
三澤　雅道	喜平町
八木　仁	喜平町
箭内　きよ子	上水南町
堺　浩一	鈴木町
佐々木　明美	鈴木町
長岡　泉	鈴木町
古橋　修平	鈴木町

第６地域	
福田　良子	花小金井
渡辺　賢治	花小金井
渡辺　早苗	花小金井
吉田　成夫	花小金井南町

鈴木稲荷神社

追悼

ご冥福をお祈り申し上げます

東島　健雄　様　　91 歳　上水本町
齋藤　亮　様　　77 歳　津田町

事　業　実　績

令和４年	受託件数（件）	就業人数（人）	就業率（%）	配分金（千円）	材料費（千円）	事務費（千円）	計（千円）	会員数（人）		
								男性	女性	合計
８月	594	834	69	33,152	1,957	2,924	38,033	827	379	1,206
９月	740	716	59	34,006	2,884	3,101	39,991	832	380	1,212
10 月	851	843	69	38,143	2,442	3,392	43,977	835	380	1,215

『年輪』編集グループ委員を募集します

『年輪』の編集に関心のある方を募集します。

編集の経験の有無は問いませんがパソコン（ワード及びメールの送受信）ができる方を希望します。

希望者は事務局までご連絡ください。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。皆様には良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

『年輪』はセンターの活動、方針を会員の皆様にお伝えすると同時に、会員同士の交流の場でもあります。気分転換を兼ねて、何か書いて（描いて）みませんか。

「会員の広場」、「仕事紹介（私の職場）」、“ちょっとひと休み”、「私の○○」、詩、短歌、俳句、旅行記、写真、絵や版画など皆様の積極的なご参加をお待ちしてます。

（広報･ボランティア委員　『年輪』編集グループ　S・I）